

福井は

福

いい感じ



令和4年度

ふくeアンケート
結果反映状況

令和5年3月

福井市市民生活部市民サービス推進課

目 次

調査の概要	1
第1回ふくeアンケート結果反映状況	
◆福井市のホームページについて	2
◆公共施設におけるキャッシュレス決済の導入について	3
◆食育について	4
◆福井市の生活環境について	5
◆福井市での居留意向について	6
第2回ふくeアンケート結果反映状況	
◆SDGs（持続可能な開発目標）について	8
◆人権について	9
◆男女共同参画について	10
◆たばこのポイ捨てと路上喫煙の規制について	11
◆スポーツについて	12
◆ふくeアンケートの周知について	13

◆ 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、市の実施する事業について市民のさまざまな意見をお聴きし、施策立案の参考資料とすることを目的に実施しました。

2 調査期間 第1回 令和4年6月16日（木）から7月31日（日）まで
第2回 令和4年10月20日（木）から11月30日（水）まで

3 調査対象 福井市内に居住するか、通勤・通学する18歳以上の人

4 調査方法 福井県電子申請サービス「ふくeねっと」を利用したインターネット調査及び調査票（紙媒体）による調査

5 第1回調査項目

- (1) 回答者の属性（性別、年齢、居住ブロック）
- (2) 福井市のホームページについて（5問）
- (3) 公共施設におけるキャッシュレス決済の導入について（3問）
- (4) 食育について（5問）
- (5) 福井市の生活環境について（5問）
- (6) 福井市での居住意向について（6問）

6 第1回回答者数 1,485人
・インターネットによる回答 1,476人
・調査票による回答 9人

7 第2回調査項目

- (1) 回答者の属性（性別、年齢、居住ブロック）
- (2) SDGs（持続可能な開発目標）について（5問）
- (3) 人権について（4問）
- (4) 男女共同参画について（6問）
- (5) たばこのポイ捨てと路上喫煙の規制について（3問）
- (6) スポーツについて（5問）
- (7) ふくeアンケートの周知について（1問）

8 第2回回答者数 1,226人
・インターネットによる回答 1,201人
・調査票による回答 25人

◆ 福井市のホームページについて

第1回ふくeアンケート調査項目 広報課が調査しました。

○調査の目的

今後のホームページのあり方を検討するため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、ホームページで知りたい情報をどのように探しますか」という設問に、「グーグルやヤフーなどの『検索サイト』から」と回答した方が45.7%と最も多く、次いで「トップページに表示されているジャンルから」が45.3%でした。また、70代以上は、「印刷物（広報紙など）の二次元コードから」と回答する割合が他の年代と比べて高いことが分かりました。
- ・「あなたは、ホームページで知りたい情報を見つけることができましたか」という設問に、「すぐに見つかった」「比較的すぐに見つかった」と回答した方は65.3%で、「見つけにくかった」「見つからなかった」と回答した方は32.7%でした。
- ・知りたい情報が「見つけにくかった」「見つからなかった」理由として、最も多かったのは「情報量が少ない・知りたい情報が載っていない」の41.7%であり、年代による違いは見られませんでした。一方、「ホームページのつくりが複雑」では20～30代で、「デザイン・レイアウトが見にくい」では30～40代で、「サイト内検索が使いにくい」では50～70代で、それぞれ回答率が4割を超え、年代による違いが見られました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆知りたい情報にたどり着きやすいホームページを目指します。

- ・ホームページに掲載する情報の充実を図るとともに、デザインやレイアウトを工夫し、できる限り見やすくします。また、AIチャットボットとの連携や印刷物の二次元コードからの誘導などを強化し、全世代の方が知りたい情報にたどり着きやすいホームページを目指します。

◆ 公共施設におけるキャッシュレス決済の導入について

第1回ふくeアンケート調査項目 総合政策課が調査しました。

○調査の目的

公共施設におけるキャッシュレス決済導入検討のため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、どのような施設でキャッシュレス決済を導入した方が良いと思いますか。」という設問に「スポーツ施設（市体育館・東山健康運動公園）」と回答した方が全体の61.8%と最も多く、キャッシュレス決済の導入ニーズがあることが分かりました。また、「クリーンセンター（ごみの持ち込み）」と回答した方も全体の49.8%と約半数を占めました。
- ・自由意見では、「住民票などの発行手数料」「税金の支払」など市役所窓口での導入を求める意見がありました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆市民の利便性向上を図るため、キャッシュレス決済の導入拡大に向けた検討を行います。

- ・市民ニーズが高い施設については、施設の特性や費用対効果などを踏まえ、キャッシュレス決済の導入について検討していきます。
- ・令和4年11月から、住民票を交付する市民課で、キャッシュレス決済サービスを導入しました。今後、利用状況を踏まえ、費用対効果や課題などを整理した上で、他の窓口での導入を検討していきます。

◆ 食育について

第1回ふくeアンケート調査項目 農政企画課が調査しました。

○調査の目的

今後の食育の取組の参考とするため、調査しました。

○調査結果の概要(福井市在住の方のみ回答)

- ・「あなたは、ふだん朝食を誰と食べていますか」という設問に、「家族そろって食べる」、「家族の誰かと食べる」と回答した方の合計は58.7%でした。また、「朝食を食べない」と回答した方は8.6%でした。
- ・「あなたは、ふだん夕食を誰と食べていますか」という設問に、「家族そろって食べる」、「家族の誰かと食べる」と回答した方の合計は78.3%でした。また、「夕食を食べない」と回答した方は0.1%でした。
- ・朝食の共食率（「家族そろって食べる」と「家族の誰かと食べる」の合計）は、夕食の共食率と比較すると低くなっています。また、朝食の欠食率が夕食と比較して高いことが分かりました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆共食や朝食摂取を推進するための取り組みに努めます。

- ・共食や朝食摂取の重要性について、毎年6月の食育月間やイベントなどの機を捉えて、関係団体と連携し、周知啓発活動を進めるとともに、SNSなどを活用した情報発信に努めます。

☆福井市食育推進会議において活用します。

- ・令和5月2月6日に開催した福井市食育推進会議において、調査結果を参考数値として活用しました。第4次福井市食育推進計画の目標達成に向け、調査や分析を継続します。

◆ 福井市の生活環境について

第1回ふくえアンケート調査項目 都市計画課が調査しました。

○調査の目的

福井市都市計画マスタープランの達成度を把握するため、福井市の生活環境について調査しました。

○調査結果の概要(福井市在住の方のみ回答)

- ・「あなたは、お住まいの地区の交通安全（歩道の設置、道路幅など）について、どの程度満足していますか。」という設問に、「満足」、「ほぼ満足」と回答した方の合計は、全体の24.4%でした。
- ・「あなたは、お住まいの地区の通勤・通学の利便性について、どの程度満足していますか。」という設問に、「満足」、「ほぼ満足」と回答した方の合計は、全体の31.3%でした。
- ・「あなたは、お住まいの地区の徒歩や自転車での移動のしやすさについて、どの程度満足していますか。」という設問に、「満足」、「ほぼ満足」と回答した方の合計は、全体の28.1%でした。
- ・「あなたは、お住まいの地区の緑や自然について、豊かだと感じますか。」という設問に、「感じる」、「やや感じる」と回答した方の合計は、全体の74.7%でした。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆福井市都市計画マスタープランの進行管理に活用します。

- ・令和5年度に開催予定の福井市都市計画マスタープラン推進本部会議などにおいて、都市計画マスタープランの目標達成状況の評価検証を行います。
- ・福井市都市計画マスタープランの目標年次は、令和12年となっていますので、今後も目標の達成状況について、評価・検証を継続し、福井市が目指す将来都市像「自然環境との共生・調和を基本とした水と緑あふれる都市」、「中心市街地と地域拠点が公共交通ネットワークにより有機的に結ばれた都市」の実現を目指します。

◆ 福井市での居住意向について

第1回ふくえアンケート調査項目 まち未来創造課、住宅政策課が調査しました。

○調査の目的

人口減少対策に関する施策に活かすため、また、福井市住宅基本計画の改定にあたり、事業の方向性を検討するため、福井市での居住意向について調査しました。

○調査結果の概要(福井市在住の方のみ回答)

- ・「あなたは、これからも福井市に住み続けたいと思いますか。」という設問に「住み続けたい」「事情が許せば住み続けたい」と回答した方の合計が83.4%でした。
- ・「あなたは、親世帯（または、子世帯）と同居もしくは近くに住んでいますか。」という設問に「同居」「同じ小学校区」と回答した方の合計が47.1%であり、半数近くの方が同居、近居していることが分かりました。
- ・「あなたが、現在お住まいの住宅は、次のうちどれですか」という設問に「持ち家」と回答した方が78.2%と、多くの方が持ち家であることが分かりました。また、持ち家と回答した方の60.2%が「新築住宅を購入（取得）した」と回答しました。
- ・現在お住まいの住宅が「賃貸」と回答した方に、「今後、住宅を購入（取得）するとしたらどんな住宅を購入（取得）したいですか。」と質問したところ、「新築住宅を購入（取得）したい」との回答が最も多く49.0%でした。一方、「中古住宅を購入（取得）したい」と回答した方は17.7%にとどまりました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆地方創生に関する本部会議において報告します。

- ・令和5年度中に開催される地方創生に関する本部会議において、今回の調査結果を報告し、今後の施策展開を検討する参考にします。
- ・「第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の計画期間は令和6年度までとなっています。成果指標として掲げている「福井市に住み続けたいと思う市民の割合」を90.0%とする目標を達成できるよう調査や分析を継続します。

☆福井市住宅基本計画の推進に取り組みます。

- ・福井市住宅基本計画の基本理念は「誰もが安心して住み続けられるふくい住まい」となっています。「これからも福井市に住み続けたい」とすべての市民が思えるように、基本理念の実現に向けて取り組んでいきます。

☆多世帯での同居や近居の推進に取り組みます。

- ・福井市住宅基本計画の重点施策の一つとして、「多世帯での同居や近居の推進」を挙げています。同居・近居は経済的なメリットなど多くのメリットがあるため、ふくいらしい住まい方の一つである同居・近居の推進に取り組んでいきます。

☆空き家の状況に応じた適正な管理・除却・利活用の一体的な推進に取り組みます。

- 福井市住宅基本計画の重点施策の一つとして、「空き家の状況に応じた適正な管理・除却・利活用の一体的推進」を挙げています。中古住宅の購入(取得)を希望する方の割合が低かったことから、空き家の流通促進や普及啓発に取り組み、利活用を進めます。

◆ SDGs(持続可能な開発目標)について

第2回ふくeアンケート調査項目 総合政策課が調査しました。

○調査の目的

今後のSDGs啓発の取組の参考とするため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、SDGsについてご存じですか」という設問に14.8%の方が「よく知っている」、64.8%の方が「知っている」と回答しており、SDGsそのものの認知度は高いことが分かりました。
- ・「あなたは、福井市がSDGs達成のために取り組んでいることを知っていますか」という設問に「知っている」と回答した方は、41.3%にとどまり、情報発信に課題があることが分かりました。
- ・「あなたは、SDGsの達成に向けて取り組んでいますか」という設問に、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」と回答した方は全体の43.6%でした。
一方で38.9%の方が「取り組みたいと思っているが何をしたいかわからない」と回答しており、年代別に見ると、10代で「何をしたいかわからない」と感じている方の割合が高いことが分かりました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆より多くの方に市の取組を知ってもらえるよう、周知・啓発に取り組みます。

- ・ホームページだけでなく、広報紙や出前講座を活用して市の取組を紹介します。

☆「何をしたらいいかわからない」と感じている方の第一歩を支援します。

- ・市民が参加できるSDGsの講座や研修を実施します。
- ・若い世代の方に興味を持ってもらえるようなイベントの開催など、啓発方法について検討します。

◆ 人権について

第2回ふくえアンケート調査項目 総合政策課が調査しました。

○調査の目的

人権啓発の施策の参考とするため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは人権問題に関心がありますか。」という設問に、「関心がある」、「少し関心がある」と回答した方を合計すると76.3%でした。前回(令和3年度)実施結果と比較して6.6ポイント増加しました。
- ・「あなたが関心のある人権問題は何ですか。(複数回答)」という設問では、前回(令和3年度)と比較して、ほとんどの人権問題について「関心がある」と回答した方の割合が増えています。特に、「部落差別(同和問題)」「犯罪被害者」「性的少数者」で大幅に増加しました。
- ・「あなたは、あなたの人権が侵害されていると感じたことはありますか。」という設問では、前回(令和3年度)と比較して、人権が侵害されていると感じたことが「ある」と回答した方の割合は、4.8ポイント増加。「ない」の割合は2.8ポイント減少しました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆人権尊重意識の醸成のための取組を進めます。

- ・市民の人権尊重意識のさらなる醸成のため、さまざまな人権課題について、学校における人権教育を行うとともに、イベント、講演会、研修会などを実施します。
- ・ホームページの充実や人権パネル展などを実施し、市民の皆様の人権啓発活動及び相談・支援体制について広く周知します。

◆ 男女共同参画について

第2回ふくえアンケート調査項目 女性活躍促進課が調査しました。

○調査の目的

男女共同参画の推進のため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、現在の学校教育の場（子どもたちへの教育）において、男女平等になっていると思いますか。」という設問に、「まだ平等とは言えない」と回答した方は、全体では42.0%で、性別で見ると男性が39.6%、女性は44.4%でした。
- ・「あなたは、1日平均すると、どのくらい家事・育児・介護をしていますか。」という設問の回答を集計した結果、男性は平均82分だったのに対し、女性は平均299分でした。
- ・「DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する相談窓口のうち、あなたが知っているものはどれですか。」という設問に、「相談窓口を知らない」と回答した方が、38.2%と最も多く、DVに関する相談窓口の認知度が低いことが分かりました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆学校教育の場において、男女が互いに尊重し、理解・協力し合える環境整備を進めます。

- ・小中学校での「夢への招待状」(DVD)の活用など学校教育を通して、性別にとらわれない職業観や男女が互いに尊重しながら学びあう意識の醸成を図ります。

☆男性の家事育児への参画を促進します。

- ・「家事・育児シェア見える化シート活用講座」や「パパ家事応援講座」の開催を通して、男性の家事育児への参画を促進し、女性の負担軽減を図ります。

☆DV 相談窓口の周知を行います。

- ・「DV 防止講座」の開催やリーフレットの配架、ホームページを通して、DV 相談窓口の周知に努めます。

◆ たばこのポイ捨てと路上喫煙の規制について

第2回ふくえアンケート調査項目 環境政策課が調査しました。

○調査の目的

たばこのポイ捨て抑制にかかる施策の参考とするため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、JR福井駅周辺において、たばこの捨て方のマナーが守られていると思いますか。」という設問に、「守られていると思う」「大体守られていると思う」と回答した方が45.3%となり、「守られていないと思う」「あまり守られていないと思う」と回答した方の28.9%を上回っています。
- ・「あなたは、JR福井駅周辺のたばこのポイ捨てを防ぐため、路上喫煙を規制する必要があると思いますか。」という設問に、「規制が必要だと思う」と回答した方が74.6%と最も高くなっています。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆ポイ捨て防止及び路上喫煙の抑制につながる施策の検討に取り組みます。

- ・この調査結果を参考に、たばこのポイ捨て、吸殻が比較的多いJR福井駅前を中心としたポイ捨て防止及び路上喫煙の抑制につながる施策の検討を進めていきます。

◆ スポーツについて

第2回ふく e アンケート調査項目 スポーツ課が調査しました。

○調査の目的

運動・スポーツの推進に向けた取組の参考とするため、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、日常生活で運動（歩く習慣や自転車利用、室内エクササイズを含む）をしていますか」という設問に、「ほぼ毎日」、「週に3～4日程度」、「週に1～2日程度」と回答した方は59.0%でした。
- ・「あなたが週に1日以上、運動やスポーツをしている理由をお答えください（複数回答）」という設問に、「健康のため（ダイエット・運動不足解消を含む）」と回答した方の割合が78.6%と最も高くなっています。
- ・「あなたが週に1日以上、運動やスポーツをしていない一番大きな理由をお答えください」という設問に、「仕事や家庭の都合で時間がとれないため」と回答した方の割合が48.8%と最も高くなっています。
- ・「あなたは、2024年春開催予定のフルマラソン「ふくい桜マラソン」に参加したいですか」という設問に、「参加したくない」と回答した方が54.1%と最も多くなっています。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆今後のスポーツ推進の取組、計画の策定を進めるために活用します。

- ・令和5年1月30日に開催した福井市スポーツ推進審議会において、参考資料として、調査結果を活用しました。
- ・本市が開催する各種スポーツ大会や教室について、内容を工夫し、市民がスポーツ活動に参加する機会の提供に努めます。
- ・福井市スポーツ推進計画【改訂版】の計画期間は令和5年度までとなっていますので、国や県のスポーツ基本計画の策定状況を踏まえ、令和6年度以降を期間とした計画の策定に向けて、調査や分析を継続していきます。

☆ふくい桜マラソンへの参加意欲向上に取り組みます。

- ・令和6年春のふくい桜マラソン開催に向けて、より多くの方に参加していただくため、県とともに裾野拡大や機運醸成に関する事業のPRに努めます。

◆ ふくeアンケートの周知について

第2回ふくeアンケート調査項目 市民サービス推進課が調査しました。

○調査の目的

ふくeアンケートについて、効果的な周知方法を確認するために、調査しました。

○調査結果の概要

- ・「あなたは、このアンケートをどこで知りましたか。」という設問に「福井市公式LINE」と回答した方が全体の28.4%と最も多く、効果的であることが分かりました。また、年代別に見ても、30代から70代で約30%が「福井市公式LINE」と回答しており、幅広い世代に有効であることが分かりました。
- ・「職場や学校の電子掲示板」と回答した方について、年代別では10代の76.3%、20代の64.3%を占めており、若い世代の方への周知に高い効果があることが分かりました。
- ・「自治会回覧チラシ」と回答した方について、年代別では、60代の29.1%、70代の27.4%、80代の40.0%を占めており、高齢者の方への周知に効果的であることが分かりました。
- ・広報ふくい、ホームページ、公共施設などに設置したチラシで知った方の割合はいずれも全体の20%未満で、効果は限定的であることが分かりました。
- ・アンケート回答者の年代を見ると、70代以上の方の割合が8.5%と、実際の人口比率（27.8% 令和4年12月1日現在）と比較して少なく、高齢者への周知を図る必要があります。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

☆アンケートの信頼度を高めるため、効果的な周知方法の実施に取り組みます。

- ・今後のアンケート調査においても、市公式LINEや電子掲示板などの効果的な周知方法を実施します。
- ・実際の人口比率と比較すると回答率が低い高齢者の回答率向上を目指し、高齢者参加のイベントで周知を行うなどの方策を検討します。

令和4年度「ふくeアンケート」結果反映状況
福井市市民生活部市民サービス推進課